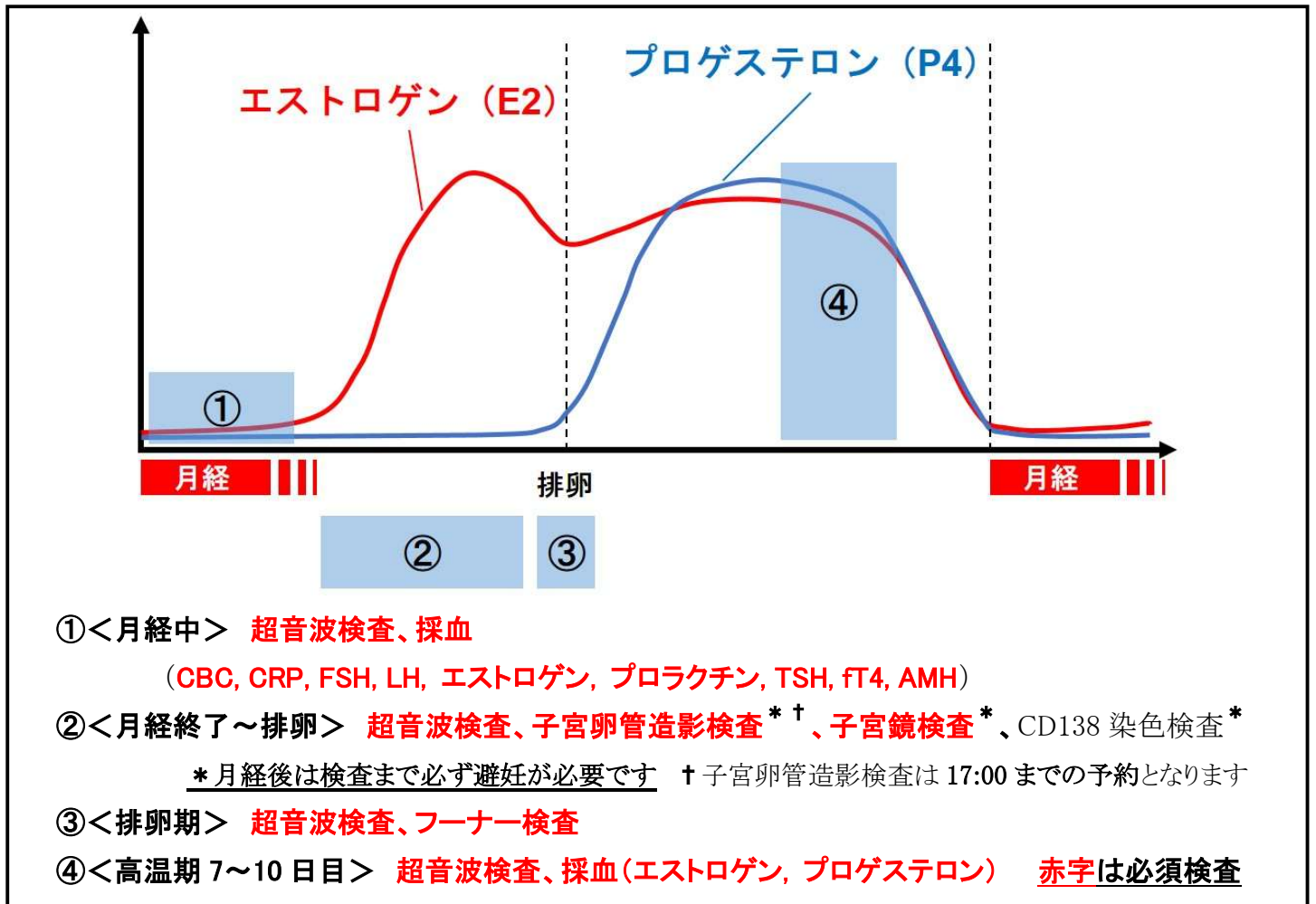


# 不妊検査



## <不妊検査をする前に必要な検査> (他院の結果も含め 1 年間有効)

- ・ **感染症検査** (B 型肝炎・C 型肝炎・梅毒・HIV) : 自費 11000 円 (以下すべて税込み価格)

## <子宮卵管造影・子宮鏡検査をする前に必要な検査> (他院の結果も含め 1 年間有効)

- ・ **淋菌・クラミジア検査** : 子宮頸管炎を疑う場合は保険適応 約 1300 円 (3 割負担の場合)

## <妊娠前に行うべき検査> (他院での過去の結果も有効)

- ・ **風疹抗体価検査** : 自費 3500 円 **注) 公費でできる可能性があります。保健所にご確認ください。**

## <自費診療> 18:00 以降に行う自費診療には夜間診療 1100 円 (税込み) が加算されます

- ・ **CD138 染色検査** (慢性子宮内膜炎の確定診断) : 14300 円

子宮内膜組織に存在する CD138 陽性形質細胞 (免疫担当細胞) の数で診断します。子宮鏡検査で慢性子宮内膜炎が疑われる場合に行います。抗生剤による治療後にも効果判定のために、再度行います。

- ・ **精液検査初回** (ご主人の検査) : 6750 円 (再検査は保険適応で約 1200 円)

精液量・精子数・運動率・奇形率を見ます。所見が悪い場合には再検査をします。

- ・ **抗精子抗体検査** (ご本人もご主人も受けられる血液検査) : 8250 円

精子に対する抗体の存在を確認する検査です。基本的にはフーナー検査の結果が不良の際に行います。

- ・ **マイコプラズマ・ウレアプラズマ検査** (不妊を引き起こす感染症の検査) : 9900 円

女性は頸管粘液で、男性は精液で検査を行います。

• **ビタミンD (25-OH Vitamin D の採血検査) : 4950 円**

妊娠前から妊娠中に必要なビタミンです。低値である場合はサプリ等で補います。

• **保険でカバーされない超音波検査 (診療した月の2~3回目以降) : 3500 円**

保険が適応となる超音波検査は診療内容により回数に制限がありますので、その回数を超えて超音波検査が必要となる場合は自費となります。

• **子宮卵管造影検査に使用するチューブ代 : 4400 円**

子宮卵管造影検査自体は基本的に保険適応です。

• **子宮鏡下選択的卵管色素通水術 : 17600 円**

子宮卵管造影検査ができない方や子宮卵管造影検査で卵管狭窄/閉塞が疑われた場合に、子宮鏡を用いて左右の卵管の通過性をそれぞれ個別に確認できます。

• **ERA (子宮内膜着床能検査) : 160000 円**

子宮内膜の組織を採取してその着床能を調べ、胚移植に適切なタイミングを確認します。体外受精を行っている方のための検査です。他院で体外受精を施行している方でも当院で施行できます。

• **EMMA (子宮内膜マイクロバイオーム検査) : 44000 円**

妊娠の可能性を高めるため、子宮内膜の組織を採取してその中の細菌を網羅的に解析します。

• **ALICE (感染性慢性子宮内膜炎検査) : 44000 円**

子宮内膜の組織を採取してその中にいる慢性子宮内膜炎を引き起こす細菌を検出し、適切な治療法を提案します。

• **EMA+ALICE : 77000 円**

EMA と ALICE を同時に行います。